

History
2007 - 2016



自ら健康に、水から健康に。



「健康のため水を飲もう」推進委員会

目次

- 1 『10年のあゆみ』発刊にあたり
- 2 本運動が10年を迎えて
- 3 「健康のため水を飲もう」推進運動とは
- 4 「健康のため水を飲もう」推進運動の歩み
- 7 これまでのPR事例
- 15 ポスターギャラリー
- 17 協賛実績
- 18 ポスター・チラシ配布枚数の推移
- 19 委員等の変遷



『10年のあゆみ』
発刊にあたり



日体大総合研究所所長／日本体育大学特別招聘教授／東京大学名誉教授
委員長 武藤 芳照

小さなせせらぎの水が集まり、一つの小川を作り、それらがさらに距離を伸ばし幅を広げて流れる内に、次第に大河を成し、ついには大海に注ぐように「健康のため水を飲もう」推進運動は、小さな取り組みから始まり、次第にそれが形を成し、輪を広げ、一つの潮流を生み出してきたように思います。

「水が低きに就く如し」(孟子)とされるように、健康のためこまめに水を飲むことが大切であること、熱中症、脳梗塞、心筋梗塞等の重大疾患・障害も、適切な水分補給を意識することで、予防に結びつけられること等の現代養生訓が、チラシ、ポスター、川柳、各種新聞・雑誌の記事の解説文、書籍、テレビ、ラジオ、インターネット等の媒体を通して、全国に広げられました。

意識が変われば、態度、行動、習慣が良い方向に変わり、より健康な生活・人生に結びつけることができます。

水を飲むことで、心身の健康と活力ある人生を生み出すことができれば、これほど手軽で安価な「クスリ」はないでしょう。とりわけ、日本が誇るべき水道水は、いつでもどこでも、安く手に入れられ、安心して飲むことができます。水道を整備することが、国民一人ひとりの心身の健康を保持・増進することにつながるのです。水道管は水を運びますが、体内に入った水は血管の中を巡って全身の臓器、細胞に水を満たし、生命を守るのです。

「水道管から血管まで」、ハードな立場の人もソフトの立場の人も、「自ら健康に 水から健康に」を銘記して、健やかで実りある日々を過ごすことができるように、このキャンペーンの川はさらに流れ続けていくのです。

本運動が10年を迎えて



厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部 水道課長
委員 宮崎 正信

「健康のため水を飲もう」推進運動が始まって早10年になりました。当時、水道事業を管轄する行政の立場から、安全で安心して飲める我が国の水道水をより広く積極的に利用して頂くPRの場として何か効果的なものがないだろうか考えていたところに、「スポーツ」「健康」という切り口から水道水を積極的に利用したいとのお話を頂き、行政とスポーツ界の双方のニーズがマッチングして始まったのがこの運動のきっかけでした。

ポスターとチラシにより、こまめな水分補給の大切さを伝えていくことが中心となっておりますが、おかげさまで夏の甲子園でのバックスクリーンでのポスター放映は板に付いてきた感がありますし、水泳競技界においても水泳の主力選手を起用することにより、本運動の認知度が定着しつつあります。また最近では、高齢者の水分不足による脳梗塞や心筋梗塞の防止の観点から、市町村の健康部局や老人ホームなどにもポスターを提示して頂くなど、本運動の対象範囲にも幅が出てきたところです。

水分補給の観点だけ見れば、昨今は様々な清涼飲料水がありますので、それらを利用する方も多くいらっしゃるかと思いますが、是非とも水道水を見直して頂きたいと思います。我が国における水道水は厳しい水質基準をクリアしているため水質的には全く問題はなく、何より安価でおいしい水があまねく全国に提供されている国は世界でもほとんどありません。夏の暑い時期には冷たい水道水や水道水で作った麦茶、冬の寒い時期には水道水を沸かして温かいお茶を飲んで、健康増進、病気や事故の予防に寄与して頂きたいと思います。

「健康のため水を飲もう」推進運動とは

背景

私たちが生きていくために「水」は欠くことのできない存在です。しかし、その摂取量が不十分であることによる健康への障害が多くの悲劇を引き起こしています。

生徒・児童等を中心に、**熱中症**による死亡事故は後を絶たず、また、中高年で多発する**脳梗塞**や**心筋梗塞**等も水分摂取量の不足が大きなりリスク要因のひとつとなっています。

熱中症とは？

熱中症は、「高温環境下で、体内の水分や塩分などのバランスが崩れたり、体内の調整機能が破綻するなどして、発症する障害」の総称です。死に至る可能性のある病気ですが、**予防法を知っていれば防ぐことができます。**

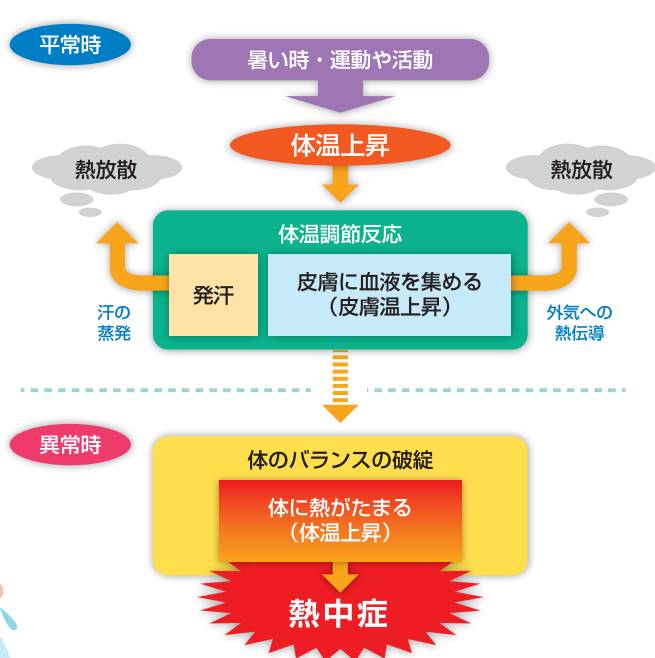
■ 体内水分の減少に伴う主な症状

水分減少率 (体重に占める割合)	主な症状
~2%	のどの渇き
3%~4%	食欲不振、イライラする 皮膚の紅潮、疲労困ぱい
5%~	言語不明瞭、呼吸困難 身体動揺、けいれん

脱水が進むと尿意が少なく、尿色が濃くなります。



■ 熱中症の起こり方



参考：環境省「熱中症環境保健マニュアル2014」

対策

脱水による健康障害や重大な事故などの予防には、**こまめな水分補給**が効果的です。寝る前、起床時、スポーツ中、入浴の前後、そして**のどが渇く前**に水分補給を心がけることが重要です。

委員会の設立

「健康のため水を飲んで、熱中症や脳梗塞などの重大な事故から尊い人命を守る。」

こういった運動を全国に広く浸透させるため、平成19(2007)年、10人の発起人による「健康のため水を飲もう」推進委員会を立ち上げました。

活動内容と期待される3つの成果

活動内容

健康維持と事故予防のために、**こまめに水を飲むという習慣の定着**を図るための各種活動を行っています。

内容 啓発ポスター・チラシを作成。各団体に協力を要請し、配布、展示等による広報活動を行っています。

時期 毎年5月上旬～

対象 ①水道事業体、②水道関連企業・団体、③学校・教育機関、④スポーツ団体、⑤保健所、⑥医師会 等

3つの 成果

- ① **こまめに**水を飲む習慣の定着
- ② 「運動中には水を飲まない」などの**誤った常識をなくし**、正しい健康情報を普及する
- ③ 水道水など**身近にある水の大切さ**の再認識

子どもから高齢者までの広く国民一般の健康増進、病気・事故の予防に寄与する

「健康のため水を飲もう」推進運動 構成

主 催 「健康のため水を飲もう」推進委員会

後 援 厚生労働省

委 員 会	委 員 長	武藤 芳照	(日体大総合研究所所長、日本体育大学特別招聘教授、東京大学名誉教授)	
	副委員長	吉田 永	(公益社団法人 日本水道協会 理事長)	
	委 員	泉 正文	(公益財団法人 日本体育協会 専務理事、公益財団法人 日本水泳連盟 副会長)	
	委 員	宮崎 正信	(厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部 水道課長)	
	委 員	太田(福島) 美穂	(NPO 法人 水と健康スポーツ医学研究所 理事長)	
	委 員	竹中 雅彦	(公益財団法人 日本高等学校野球連盟 事務局長)	
	委 員	寺西 新	(東京都中野区保健所長)	
	委 員	仁井 正夫	(一般社団法人 日本水道工業団体連合会 専務理事)	
	委 員	西原 一裕	(株式会社 水道産業新聞社 代表取締役社長)	
	委 員	磯部 光徳	(株式会社 日本水道新聞社 取締役新聞事業部長)	
				(順不同、平成 29 年 3 月 31 日現在)

協 賛 全国の水道事業体、水道関連企業・団体、(公財)日本高等学校野球連盟、(公財)日本体育協会、(公財)日本水泳連盟、(公社)日本水道協会、(一社)日本水道工業団体連合会 等

事 務 局 株式会社 水道産業新聞社

「健康のため水を飲もう」

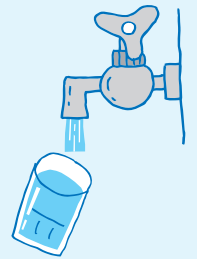
平成 18 (2006) 年 運動開始。水道産業新聞社主催、厚生労働省後援でポスター制作・配布

平成 19 (2007) 年 委員会設立、HP 立ち上げ

- 4月10日 **第1回委員会(委員会発足式)**
・運動の一環として啓発ポスター(B2判)制作、配布を決定
・厚生労働省水道課および事務局(水道産業新聞社)HPに運動ページを制作
- 9月25日 **第2回委員会**
・(協賛団体からのアンケート結果より)ポスターサイズをB2→A2判に変更

平成 20 (2008) 年 ポスター2万枚突破、委員会規約制定、チラシ作成

- 4月14日 **第3回委員会(西山正徳・厚生労働省健康局長出席)**
・委員会規約(案)を審議
・チラシ作成を決定
- 9月22日 **第4回委員会**
・委員会規約(修正案)を審議⇒制定
・ポスター配布枚数が20,000枚突破



平成 21 (2009) 年 連携を検討

- 3月9日 **第5回委員会**
・活動計画書(案)を審議⇒制定
・ロゴ(案)を審議
・公共広告機構(AC)の活用を検討
- 9月14日 **第6回委員会**
・厚生労働省水道課HPリニューアル(各委員HPをリンク)
- 12月17日 (財)ミズノスポーツ振興会に助成金申請書を提出

平成 22 (2010) 年 連携およびQ&Aを検討

- 1月4日 日本製薬団体連合会および(社)日本経済団体連合会に趣意書を提出
- 3月15日 **第7回委員会**
・『マイボトル・マイカップキャンペーン』との連携を検討
- 10月4日 **第8回委員会**
・HPにQ&A掲載を審議



HPの検索数は増えているが年齢層は不明。「健康」「水」というキーワード検索で考えると、子供は多くないと思われる。受け手がわからない状態では、独自のHPを立ち上げるのは厳しい。HPを立ち上げて、維持管理をしていくには組織が必要で、今の体制では難しい。「水と健康」に関わる団体、機関、マスコミのQ&Aを少しずつ集めて参考資料を蓄積して、次のステップで検討する。HPは慎重に進めた方が良いとの結論。

平成 23 (2011) 年 委員会名称の変更、使用規約制定

- 3月7日 **第9回委員会**
・厚生労働省水道課HP運動ページアクセス数の報告[平成19年7月約1,700件・平成20年1月約2,200件]⇒[平成22年7月5,100件・平成23年1月約2,200件]とアクセス数は年々増加傾向にある。
・ポスター、キャッチフレーズ、文言等の使用規約・申請書(案)を審議⇒制定
・ロゴマーク案を審議
- 9月26日 **第10回委員会**
・委員会名称の変更(健康のため水を飲もう推進委員会⇒「健康のため水を飲もう」推進委員会)「」をつける。

推進運動の歩み



平成 24 (2012) 年 連携を検討

- 4月4日 **第 11 回委員会**
- ・ロゴマーク案を審議⇒公募で標語およびシンボルマークを決定することに
 - ・『マイボトル・マイカップキャンペーン』との連携を検討
 - ・『熱中症予防 声かけプロジェクト』との連携を検討
- 9月6日 **第 12 回委員会**
- ・シンボルマーク応募要項(案)を審議⇒新聞紙面、HP、公募ガイド等で募集

平成 25 (2013) 年 標語およびシンボルマーク公募

- 3月4日 **第 13 回委員会**
- ・標語およびシンボルマーク応募作品の審査⇒各最優秀作品が決定
 - 【応募総数】[標語] 4,706 点、[マーク] 625 点
 - 【応募年齢】[標語] 小2～96 歳、[マーク] 10 歳～82 歳
 - 【応募国】日本、フランス、オーストラリア、ハワイ、韓国、シンガポール
- 9月18日 **第 14 回委員会**



平成 26 (2014) 年 瀬戸大也選手をポスターに起用

- 3月12日 **第 15 回委員会**
- ・瀬戸大也選手(第 15 回 FINA 世界水泳選手権大会男子 400m 個人メドレー金メダリスト)をポスターに起用
 - ・チラシのリニューアル
- 10月23日 **第 16 回委員会**

平成 27 (2015) 年 ポスター2万 5,000 枚突破、企画書作成

- 2月16日 環境省総合環境政策局環境保健部環境安全課の加藤課長補佐、大木氏と面談し、連携を検討
- 2月18日 文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課学校安全係の中出係長、斎藤氏と面談し、連携を検討
- 3月3日 **第 17 回委員会**
- ・企画書(案)を審議⇒作成
 - ・グッズの販売を審議⇒水道産業新聞社および日本水道新聞社取扱商品にシンボルマーク等を刷り込んで販売可能に
- 11月10日 **第 18 回委員会**
- ・ポスター配布枚数が2万 5,000 枚を突破

平成 28 (2016) 年 チラシのリニューアル・2万 5,000 枚を突破、川柳募集

- 2月22日 **第 19 回委員会**
- ・独自HPの制作、他キャンペーンとの連携を検討
 - ・協賛1口におけるチラシ枚数を増加(500 枚⇒1,000 枚)
 - ・チラシのリニューアル(応急措置の内容を追加)
- 6月6日 スポーツ庁の平井スポーツ統括官と面談⇒本運動の概要を説明
- 6月13日 日本財団の吉倉総務部長、同パラリンピックサポートセンターの渡邊広報部プロジェクトリーダーと面談⇒本運動の概要を説明
- 9月12日 **第 20 回委員会**
- ・チラシ配布枚数が2万 5,000 枚を突破
 - ・「第 1 回健康のため水を飲もう川柳」開催を決定

⋮



これまでのPR事例

本運動では、運動開始直後から委員をはじめ、全国の水道事業体、水道関連企業・団体、その他団体等のご協力により、様々なシーンで、ポスターおよびチラシを活用して、こまめな水分補給の大切さをPRしていただきました。以下、その一部をご紹介します。

START

平成 19 年

2007

- ▶第89回全国高等学校野球選手権大会(主催：朝日新聞社、日本高等学校野球連盟)の地方大会でポスター400枚掲示および注意喚起アナウンス※、全国大会(8月8日-22日)の阪神甲子園球場バックスクリーンフリーボードでのポスター放映(毎日第1試合前の時間帯と、各試合5回のあとのブレイクタイムで放送)と、注意喚起アナウンス※を実施

※「しっかり水分、元気な夏！こまめに水分を飲みましょう！熱中症、脳梗塞といった健康障害や重大な事故を防ぐためには水分補給が大切です。喉が渇く前に、早めに水分を補給しましょう。」



- ▶熊本日日新聞5月16日付で本運動を紹介
- ▶徳島新聞5月16日付で本運動を紹介
- ▶暮らしと健康の月刊誌「ケア」8月号で本運動を紹介
- ▶全国保健センター連合会「MONTHLY 保健センター」No.135(7月号)で本運動を紹介
- ▶水道産業新聞4月12日付で第1回委員会記事を掲載
- ▶日本水道新聞4月21日付で第1回委員会記事を掲載
- ▶水道産業新聞8月20日付で甲子園球場におけるPR記事を掲載
- ▶水道産業新聞10月1日付で第2回委員会記事を掲載
- ▶日本水道新聞9月28日付で第2回委員会記事を掲載

平成 20 年

2008

- ▶第90回全国高等学校野球選手権記念大会の地方大会47地区でポスター244枚掲示および注意喚起アナウンス、全国大会(8月2日-18日)の阪神甲子園球場バックスクリーンフリーボードでのポスター放映と、注意喚起アナウンスを実施



- ▶夏季国体の水泳会場(大分県)とインターハイ(埼玉県)で注意喚起アナウンスを実施
- ▶財日本水泳連盟・機関誌「月刊水泳」でチラシを掲載
- ▶都道府県水泳連盟を窓口にして全国の水泳場にポスター500枚、チラシ2,000枚を配布
- ▶日本水道会館でポスターを掲示
- ▶(社)日本水道協会全国各県支部長都市、日本水道協会大阪支所にポスター・チラシを配布
- ▶(社)日本水道協会講演会で本運動を紹介
- ▶(社)日本水道工業団体連合会会員企業・団体に向け情報提供
- ▶環境省主催「熱中症シンポジウム」でポスター掲示、チラシ200枚を配布
- ▶「大学生・高校生のための現場のスポーツ医学入門」で本運動を紹介
- ▶東京都水道局・広報誌「水道ニュース」No.22(7月)およびNo.23(10月)で本運動を紹介
- ▶川崎市水道局・広報誌「かわさきの水道」No.53(8月)で本運動を紹介
- ▶教育医事新聞6月25日付で本運動を紹介
- ▶水道産業新聞4月17日付で第3回委員会記事を掲載
- ▶日本水道新聞4月21日付で第3回委員会記事を掲載
- ▶水道産業新聞6月16日付でポスター完成記事を掲載
- ▶水道産業新聞6月30日付社説で本運動を紹介
- ▶水道産業新聞8月11日付で甲子園球場におけるPR記事を掲載

- ▶水道産業新聞10月2日付で第4回委員会記事を掲載
- ▶日本水道新聞10月9日付で第4回委員会記事を掲載

平成 21 年

2009

- ▶第 91 回全国高等学校野球選手権大会の地方大会でポスター掲示および啓発アナウンス、全国大会(8月8日ー24日)の阪神甲子園球場バックスクリーンフリーボードでのポスター放映と、注意喚起アナウンスを実施



- ▶夏季国体の水泳会場(新潟県)とインターハイ(大阪府)で注意喚起アナウンスを実施
- ▶(社)日本水道会館でポスターを掲示
- ▶(社)日本水道協会支部長都市にポスター・チラシを配布
- ▶(社)日本水道工業団体連合会会員企業・団体に向け情報提供
- ▶富山市の日本初 LRT 次世代型路面電車「ポートラム」(8月ー9月)の車内液晶モニターでポスターを放映
- ▶京都市上下水道局・夏期街頭キャンペーンチラシ(8月)で本運動を紹介
- ▶旭川市水道局・広報紙「こんにちは 水道局です」第26号(11月)で本運動を紹介
- ▶南部水道企業団・広報誌「清ら水だより」Vol.19(2月)で本運動を紹介

- ▶伊丹市水道局・広報誌「いたみの水道」第23号(12月号)でポスターを紹介

- ▶「3分クッキング」12月号でポスターを紹介

- ▶ダスキン情報誌「水とのつきあい方」で本運動を紹介

- ▶日本マスターズ水泳協会「マスターズニュース」第97号で本運動を紹介



- ▶水を語る会(1月17日)で武藤委員長が本運動について講演
- ▶水道産業新聞3月12日付で第5回委員会記事を掲載
- ▶日本水道新聞3月30日付で第5回委員会記事を掲載
- ▶水道産業新聞2月26日、3月16日、4月2日付で「水を語る会」での武藤委員長講演記事を掲載
- ▶日本水道新聞4月27日付で本運動を紹介
- ▶水道産業新聞6月8日付でポスター完成記事を掲載
- ▶水道産業新聞6月25日付でポスター配布開始記事を掲載
- ▶水道産業新聞7月9日付でポスター配布枚数2万枚突破記事を掲載
- ▶水道産業新聞8月20日付で甲子園球場におけるPR記事を掲載
- ▶水道産業新聞9月17日付で第6回委員会記事を掲載
- ▶日本水道新聞9月28日付で第6回委員会記事を掲載

平成 22 年

2010

- ▶第 92 回全国高等学校野球選手権大会・全国大会(8月7日ー21日)で、阪神甲子園球場バックスクリーンフリーボードでのポスター放映と、注意喚起アナウンスを実施



- ▶夏季国体の水泳会場(千葉県)とインターハイ(沖縄県)で注意喚起アナウンスを実施
- ▶(財)日本水泳連盟でチラシ 8,000 枚を作成し、学校、クラブ、スイミングスクール等の登録団体に配布
- ▶第 78 回全国高等学校選手権水泳競技大会(沖縄県・8月17日ー20日)の監督者会議で、チラシおよびポスターを配布、説明
- ▶第50回全国中学校水泳競技大会(広島県・8月21日ー23日)の監督者会議で、チラシおよびポスターを配布、説明
- ▶日本水道会館でポスターを掲示
- ▶(社)日本水道協会支部長都市にポスター・チラシを配布

- ▶(株)日本水道工業団体連合会会員企業・団体にチラシを配布
- ▶(株)日本水道工業団体連合会講演会で武藤委員長が本運動について講演
- ▶京都市上下水道局・夏期街頭キャンペーンチラシ(8月)にポスターを掲載
- ▶政治評論家・森田実氏ブログ「言わねばならぬ 855」9月11日付で本運動を紹介
- ▶教育医事新聞6月25日付で本運動を紹介
- ▶水道産業新聞1月1日付で新春特別座談会『「健康のため水を飲もう推進運動」の新たな展開』を掲載(武藤芳照氏、吉口進朗氏、小森年展氏、泉正文氏、司会=西原一裕)
- ▶水道産業新聞3月25日付で第7回委員会記事を掲載
- ▶日本水道新聞3月18日付で第7回委員会記事を掲載
- ▶水道産業新聞6月14日付でポスター完成記事を掲載
- ▶日本水道新聞6月17日付でポスター完成記事を掲載
- ▶水道産業新聞6月21日付で本運動記事を掲載
- ▶水道産業新聞7月26日付で本運動記事を掲載
- ▶水道産業新聞8月9日付で阪神甲子園球場におけるPR記事を掲載
- ▶水道産業新聞10月14日付で第8回委員会記事を掲載
- ▶日本水道新聞10月25日付で第8回委員会記事を掲載
- ▶8月31日、啓発本『健康のため水を飲もう』(武藤芳照氏著)を刊行

平成 23 年

2011

- ▶第93回全国高等学校野球選手権大会・全国大会(8月6日-20日)で、阪神甲子園球場バックスクリーンフリーボードでのポスター放映と、注意喚起アナウンスを実施



- ▶夏季国体の水泳会場(山口県)とインターハイ(岩手県)で注意喚起アナウンスを実施
- ▶(財)日本水泳連盟でチラシ 7,000 枚を作成し、学校、クラブ、スイミングスクール等の全登録団体に配布
- ▶第79回全国高等学校選手権水泳競技大会(岩手県・8月17日-20日)の監督者会議で、チラシおよびポスターを配布、説明
- ▶第51回全国中学校水泳競技大会での活用(大阪府・8月21日-23日)の監督者会議で、チラシおよびポスターを配布、説明
- ▶日本水道会館でポスターを掲示
- ▶(株)日本水道協会支部長都市にポスター・チラシを配布
- ▶(株)日本水道工業団体連合会会員企業・団体にチラシを配布
- ▶(株)日本水道工業団体連合会・機関誌「水団連」No.107より武藤委員長が本運動に関する連載(計8回)を開始
- ▶広島市水道局庁舎入り口看板で本運動をPR



- ▶会津若松市水道部・広報誌「水道あいづわかまつ」No.67(6月)で本運動を紹介
- ▶光市水道局・広報誌「光の水だより」11月号で本運動を紹介
- ▶南部水道企業団・広報誌「清ら水だより」Vol.24(10月)にチラシを掲載
- ▶全国管工事業協同組合連合会「全管連ニュース」7月1日付および8月1日付、「全管連ジャーナル」7月号で本運動を紹介
- ▶シンガポール国際水週間 2011 水エキスポの日本水フォーラム等の共同出展ブースで、ポスターパネルを展示
- ▶水道産業新聞3月17日付で第9回委員会記事を掲載
- ▶日本水道新聞3月10日付で第9回委員会記事を掲載
- ▶水道産業新聞8月11日付で阪神甲子園球場におけるPR記事を掲載
- ▶水道産業新聞10月10日付で第10回委員会記事を掲載
- ▶日本水道新聞10月13日付で第10回委員会記事を掲載

平成24年

2012

- ▶ 第94回全国高等学校野球選手権大会・全国大会(8月8日-23日)で、阪神甲子園球場バックスクリーンフリーボードでのポスター放映と、注意喚起アナウンスを実施



- ▶ 日本体育協会館内全階でポスターを掲示
- ▶ 第67回国民体育大会夏季水泳競技会(岐阜県・9月13日-17日)の監督者会議でチラシ配布、ポスター掲示
- ▶ (公財)日本水泳連盟でチラシ7,000枚を作成し、学校、クラブ、スイミングスクール等の全登録団体をはじめ大会等で配布
- ▶ 第80回全国高等学校選手権水泳競技大会(新潟県・8月17日-20日)の監督者会議でチラシ配布・説明およびポスター掲示
- ▶ 第52回全国中学校水泳競技大会(栃木県・8月21日-23日)の監督者会議で、チラシ配布・説明およびポスター掲示
- ▶ 第35回全国JOCジュニアオリンピックカップ大会(東京都・8月25日-30日)の監督者会議でチラシ配布・説明
- ▶ 大田区イベント等でポスターを配布・掲示
- ▶ 日本水道会館でポスターを掲示
- ▶ (公社)日本水道協会支部長都市にポスター・チラシを配布
- ▶ 千代田区役所でポスターを掲示
- ▶ (一社)日本水道工業団体連合会会員企業・団体向け情報提供
- ▶ 東京大マラソン祭り2012(2月25日)、東京マラソンEXPO(2月23日-25日)の東京都水道局ブースで本運動を紹介したパネルを展示
- ▶ 明石市水道部で横断幕やボトルウォーターを作成し本運動をPR



- ▶ 新潟市水道局で垂れ幕を作成し水分補給の必要性をPR
- ▶ 会津若松市水道部・広報誌「水道あいづわかまつ」No.69(3月)で本運動を紹介
- ▶ 全国管工事業協同組合連合会「全管連ジャーナル」7月号で本運動を紹介
- ▶ 日本水道新聞4月9日付で第11回委員会記事を掲載
- ▶ 水道産業新聞6月7日付でポスター完成記事を掲載
- ▶ 水道産業新聞8月13日付で阪神甲子園球場におけるPR記事を掲載
- ▶ 水道産業新聞9月13日付で第12回委員会記事を掲載
- ▶ 日本水道新聞9月10日付で第12回委員会記事を掲載
- ▶ 水道産業新聞12月3日付で本運動シンボルマークおよび標語募集記事を掲載

平成25年

2013

- ▶ 平成25年度標語および本運動シンボルマークを公募(平成24年10月22日-平成25年2月22日)。日本全国をはじめ、フランスやオーストラリア、アメリカ、韓国など世界各国、6歳-96歳の幅広い年齢層の方々から合計5,331点の応募があり、下記作品に決定。

標語部

最優秀賞作品

「水飲もう! 元気なくらしの合言葉」

山野 大輔さん(37歳・大阪府)

シンボルマークの部

最優秀賞作品

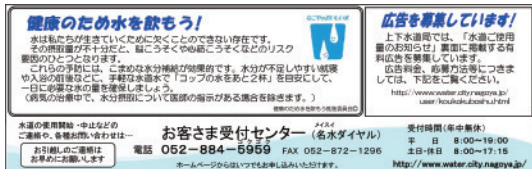
鶴飼 祥世さん
(35歳・長野県)



- ▶ 第95回全国高等学校野球選手権記念大会・全国大会(8月8日-22日)で、阪神甲子園球場バックスクリーンフリーボードでのポスター放映と、注意喚起アナウンスを実施



- ▶日本体育協会館内全階でポスターを掲示
- ▶第68回国民体育大会水泳競技会(東京都・9月11日-15日)の監督者会議でチラシを配布・説明およびポスター掲示
- ▶第81回全国高等学校選手権水泳競技大会(長崎県・福岡県・8/17-20)の監督者会議でチラシ200部を配布・説明およびポスター掲示
- ▶(公財)日本水泳連盟でチラシ7,000枚を作成し、学校、クラブ、スイミングスクール等の全登録団体をはじめ大会等で配布
- ▶第53回全国中学校水泳競技大会(静岡県・8月21日-23日)の監督者会議で、チラシ200部を配布・説明およびポスター掲示
- ▶第36回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季大会(東京都・8月26日-30日)の監督者会議でチラシ600部を配布し、アナウンス・電光掲示板等で注意喚起
- ▶日本水道会館でポスターを掲示
- ▶(公社)日本水道協会支部長都市にポスター・チラシを配布
- ▶千代田区役所でポスターを掲示
- ▶(一社)日本水道工業団体連合会会員企業・団体向け情報提供
- ▶(一社)日本水道工業団体連合会・機関誌「水団連」No.111で本運動特集を掲載
- ▶名古屋市上下水道局・検針票「水道ご使用量のお知らせ」(2月-3月)で本運動を紹介



- ▶丹波ささやま農業協同組合・広報誌「あさぎり」3月号で本運動を紹介
- ▶山形市上下水道部・広報誌「アクアレポート」7月号で本運動を紹介
- ▶松本市上下水道局・広報紙「広報まつもと」6月号で本運動を紹介
- ▶神奈川区役所福祉保険課および横浜市水道局「健康づくりキャンペーン」(5月30日)でチラシを配布
- ▶水戸市水道部・広報誌「水都だより」7月号で本運動を紹介
- ▶新居浜市水道局が配布する「花の種」広告欄で本運動を紹介
- ▶越谷・松伏水道企業団・広報誌「水道だより」で本運動を紹介

- ▶広島県食品生活衛生課水道グループHPで本運動を紹介
- ▶松江市民参加イベントでポスターを配布
- ▶川棚町「広報かわたな」でポスターを掲載
- ▶高知市水道局発注工事(八反町二丁目-伊勢崎町配水本管布設替工事)の工事区間内看板にポスターを掲示



- ▶福岡市水道局・副読本「水とわたしたち」で本運動を紹介
- ▶書籍『ゼロから理解する 水の基本』(千賀裕太郎監修)で本運動を紹介
- ▶水道産業新聞3月14日付で第13回委員会記事を掲載
- ▶日本水道新聞3月14日付で第13回委員会記事を掲載
- ▶水道産業新聞5月27日付でポスター完成記事を掲載
- ▶水道産業新聞8月12日付で阪神甲子園球場におけるPR記事を掲載
- ▶水道産業新聞9月30日付で第14回委員会記事を掲載
- ▶日本水道新聞9月30日付で第14回委員会記事を掲載

平成26年

2014

- ▶第96回全国高等学校野球選手権大会・全国大会(8月11日-25日)で、阪神甲子園球場バックスクリーンフリーボードでのポスター放映と、注意喚起アナウンスを実施



- ▶日本体育協会館内全階でポスター掲示
- ▶第69回国民体育大会水泳競技会(長崎県・9月7日-14日)の監督者会議でチラシ配布、ポスター掲示
- ▶(公財)日本水泳連盟でチラシ7,000枚を作成し、学校、クラブ、スイミングスクール等の全登録団体をはじめ大会等で配布

- ▶第82回全国高等学校選手権水泳競技大会(千葉県・東京都・8月17日-20日)の監督者会議でチラシ250部を配布・説明およびポスター掲示
- ▶第54回全国中学校水泳競技大会(高知県・8月21日-23日)の監督者会議で、チラシ200部を配布・説明およびポスター掲示
- ▶第37回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季大会(東京都・8月26日-30日)の各監督者会議でチラシ300-500部を配布し、アナウンス・電光掲示板等で注意喚起
- ▶日本水道会館でポスター掲示
- ▶(公社)日本水道協会支部長都市にポスター・チラシ配布
- ▶千代田区役所でポスターを掲示
- ▶(一社)日本水道工業団体連合会会員企業・団体に向け情報提供
- ▶神奈川県企業庁水道部で、「健康のため水を飲もう」標語等を印刷した県営水道PRグッズ(うちわ、チラシ、水缶)を、水道週間キャンペーン等のイベントで配布



チラシ



うちわ



水缶ラベル

- ▶神奈川県企業庁水道部で、「クールシェアさがみはら2014」リーフレットの広告欄に「健康のため水を飲もう」標語等を掲載し、市の施設や民間施設に配布
- ▶盛岡市上下水道局・広報紙「みずの輪」vol.2(8月)で本運動を紹介
- ▶鳥栖市上下水道局ツイッター、フェイスブック、HPで本運動を紹介
- ▶さいたま市水道局・広報紙「水と生活」No.154(12月)で本運動を紹介

- ▶松江市上下水道局「上下水道NEWS」7号(4月)および水道かわら版「せせらぎ」vol.5でポスターを掲載
- ▶佐久水道企業団・広報紙「佐久水道新聞」No.111(11月)で本運動を紹介
- ▶高知市水道局発注工事(北新田町・新田町配水管布設替工事)の工事区間内看板にポスターを掲示
- ▶名古屋市上下水道局・検針票「水道ご使用量のお知らせ」(6月-7月分)裏面で本運動を紹介
- ▶水戸市水道部・広報紙「水都だより」第30号(11月)で本運動を紹介



- ▶関西ウォータークラブ第52回総会(5月19日)講演会で、武藤委員長が本運動について講演
- ▶水道産業新聞3月31日付で第15回委員会記事を掲載
- ▶日本水道新聞3月27日付で第15回委員会記事を掲載
- ▶水道産業新聞6月2日付でポスター完成記事を掲載
- ▶水道産業新聞8月14日付で阪神甲子園球場におけるPR記事を掲載
- ▶水道産業新聞11月13日付で第16回委員会記事を掲載
- ▶日本水道新聞11月17日付で第16回委員会記事を掲載

平成27年

2015

- ▶第97回全国高等学校野球選手権大会・全国大会(8月6日-20日)で、阪神甲子園球場バックスクリーンフリーボードでのポスター放映と、注意喚起アナウンスを実施



- ▶日本体育協会館内全階にポスター掲示
- ▶第70回国民体育大会水泳競技会(和歌山県・9月7日-13日)の監督者会議でチラシ配布、ポスター掲示
- ▶(公財)日本水泳連盟でチラシ7,500枚を作成し、学校、クラブ、スイミングスクール等をはじめ、全国大会等で配布
- ▶第83回全国高等学校選手権水泳競技大会(京都府・8月17日-20日)の監督者会議でチラシ250部を配布・説明およびポスター掲示
- ▶第55回全国中学校水泳競技大会(秋田県・8月17日-19日)の監督者会議で、チラシ200部を配布・説明およびポスター掲示
- ▶第38回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会(東京都等・8月22日-26日)の各監督者会議でチラシ300-500部を配布し、アナウンス・電光掲示板等で注意喚起
- ▶中野区所有施設、学校等にポスター掲示し、関係団体(医師会、薬剤師会、食品衛生協会等)に協力要請
- ▶日本水道会館でポスター掲示、広報コーナーにチラシを設置
- ▶(公社)日本水道協会7地方支部長、47都府県支部長、5地区協議会区長(北海道)都市にポスター・チラシを配布
- ▶(公社)日本水道協会「水道協会雑誌」7月号にチラシを掲載
- ▶(一社)日本水道工業団体連合会会員企業・団体向け情報提供
- ▶鳴門市ケーブルテレビの広報番組(8月1日-15日)で本運動を紹介
- ▶神奈川県企業庁HPで本運動を紹介
- ▶甲府市上下水道局HPで本運動を紹介
- ▶箕面市HPで本運動を紹介
- ▶大東市フェイスブックで本運動を紹介
- ▶佐賀東部水道企業団企業長ブログ(6月17日)で本運動を紹介
- ▶新潟県阿賀野市の敬老会でチラシを配布
- ▶松本市上下水道局・広報紙「広報まつもと」(6月)で本運動を紹介
- ▶広島市水道局の出前講座でポスターを紹介
- ▶山陽小野田市の第6回SOS健康フェスタ(11月15日)でポスター掲示
- ▶田布施・平生水道企業団で小学生の浄水場見学しおり(5月11日-6月30日)で本運動を紹介
- ▶草加市上下水道部庁舎内でポスター掲示および施設見学等でチラシ配布

- ▶高槻市水道部の告知チラシで本運動を紹介
- ▶福留・津島特定建設工事共同企業体で、高知市内水道工事の看板にポスターを掲示
- ▶高知市高須浄化センターでポスターを掲示
- ▶備松江市社会福祉協議会で高齢者へチラシを配布
- ▶ホクトサービス(株)社内掲示板(8月1日-31日)で、ポスター掲示およびチラシ配布
- ▶大日本住友製薬(株)でポスターを掲示
- ▶(株)日立製作所情報通信システム社ITプラットフォーム事業本部小田原健康管理センターでポスター・チラシを掲示
- ▶テニスユニバースでポスターを掲示
- ▶水道産業新聞4月13日付で第17回委員会記事を掲載
- ▶日本水道新聞3月30日付で第17回委員会記事を掲載
- ▶水道産業新聞5月18日付でポスター完成記事を掲載
- ▶日本水道新聞5月18日付でポスター完成記事を掲載
- ▶水道産業新聞8月10日付で阪神甲子園球場におけるPR記事を掲載
- ▶水道産業新聞11月26日付で第18回委員会記事を掲載
- ▶日本水道新聞12月3日付で第18回委員会記事を掲載

平成28年

2016

- ▶第98回全国高等学校野球選手権大会・全国大会(8月7日-21日)で、阪神甲子園球場バックスクリーンフリーボードでのポスター放映と、注意喚起アナウンスを実施



- ▶厚生労働省・全国水道関係担当者会議(2月25日)で本運動企画書460部を配布
- ▶岸記念体育会館全階にポスターを掲示
- ▶第71回国民体育大会水泳競技会(岩手県・9月4日-11日)の監督者会議でチラシ配布、ポスター掲示
- ▶(公財)日本水泳連盟でチラシ7,500枚を作成し、機関誌「月刊水泳」に6,500部を折り込み、全国の学校水泳部・スイミングクラブ・地域スポーツクラブ等に配布。

- ▶第 84 回全国高等学校選手権水泳競技大会(広島県・8月17日-20日)の監督者会議でチラシ 250部を配布・説明およびポスター掲示
- ▶第 56 回全国中学校水泳競技大会(新潟県・8月17日-19日)の監督者会議で、チラシ200部を配布・説明およびポスター掲示
- ▶第39回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会(東京都等・8月22日-26日)の各監督者会議でチラシ 300-500部を配布し、アナウンス・電光掲示板等でPR
- ▶中野区スポーツ施設、清掃事務所、学校等でポスターを掲示
- ▶(公社)日本水道協会7地方支部長都市、46都府県支部長都市、5地区協議会区長都市にポスター・チラシを配布
- ▶日本水道会館でポスター掲示、広報コーナーにチラシを設置
- ▶(一社)日本水道工業団体連合会会員企業・団体向け情報提供
- ▶甲府市上下水道局HPでポスター・チラシを掲載
- ▶愛知県江南市水道事業・広報誌「江南の水道」No.10にチラシを掲載
- ▶阿賀野市の市民講座やイベントでチラシを配布
- ▶箕面市部長ブログ(6月30日)でポスターを掲載
- ▶富士宮市水道部の水の日イベント(7月31日)会場でポスターを掲示
- ▶神奈川県企業庁で、「クールシェアさがみはら 2016」リーフレット8,000部の広告欄に「健康のため水を飲もう」標語を掲載し、相模原市内の施設や民間施設に配布
- ▶神奈川県企業庁で小学生向け水道副読本「水がとどくまで」で本運動を紹介
- ▶神奈川県企業庁HPで本運動を紹介
- ▶山陽小野田市水道局「さんようおのだ水道展 2016」(6月3日-5日)でポスター掲示、チラシ配布
- ▶加古川市上下水道局・市民用啓発冊子「加古川市の水道」で本運動を紹介
- ▶松本市上下水道局・広報紙「広報まつもと」6月号で本運動を紹介
- ▶小平市役所健康福祉部健康推進課で、熱中症対策講演会(6月18日)および健康センター館内(6月-10月)でポスターを掲示
- ▶矢板市役所健康増進課でポスターを掲示
- ▶NTT東日本・北海道法人営業部でポスター・チラシを配布

- ▶カイセイ薬局東住吉店でチラシを配布
- ▶アルフレッサファーマ(株)でポスター掲示、チラシ配布
- ▶オイレス工業(株)藤沢事業場でポスター掲示、チラシ配布
- ▶(株)エムダブルエス日高でポスター掲示、チラシ配布
- ▶協栄設備サービス(株)でポスター掲示
- ▶(株)名古屋三越星ヶ丘店バックヤードでポスター掲示、従業員配布用の情報ガイドにチラシを掲載
- ▶東急スポーツシステム(株)「アトリオドゥー工武蔵小山」でポスターを掲示
- ▶全国農協食品(株)関東工場でポスターを掲示
- ▶福祉用具プラザ北九州でポスター掲示、チラシ配布
- ▶アクサ生命保険(株)の水についての社内セミナー(5月27日、札幌市水道局協力)で、ポスター掲示、チラシ配布
- ▶(一財)工業所有権協力センターでポスターを掲示
- ▶(公社)江田島市シルバー人材センター・広報誌「シルバー江田島」7月号にチラシを掲載
- ▶(公財)群馬県環境検査事業団・広報誌にチラシを掲載
- ▶(学)電波学園岐阜国際高等学校でポスターを掲示
- ▶(備)愛誠会・軽費老人ホーム「伊豆天城ハウス」でポスターを掲示
- ▶(備)愛誠会・特別養護老人ホームでポスターを掲示
- ▶(備)同心会 西条中央病院内の電光掲示板でポスターを配信
- ▶(医)半田中央病院の健康福祉まつり(5月14日)でチラシを配布
- ▶東海日日新聞7月9日付「夏の健康特集」記事で本運動を紹介
- ▶イオン秦野店・食生活相談でポスターを掲示
- ▶水道産業新聞3月14日付で第19回委員会記事を掲載
- ▶日本水道新聞3月10日付で第19回委員会記事を掲載
- ▶水道産業新聞8月8日付で阪神甲子園球場におけるPR記事を掲載
- ▶水道産業新聞10月3日付で第20回委員会記事を掲載
- ▶日本水道新聞10月6日付で第20回委員会記事を掲載
- ▶水道産業新聞10月24日付で「第1回健康のため水を飲もう川柳」募集記事を掲載
- ▶日本水道新聞11月21日付で「第1回健康のため水を飲もう川柳」募集記事を掲載



2006 ポスター (B2) ※委員会設立前のため水道産業新聞社主催



2007 ポスター (B2)



2009 ポスター A (A2)



2011 ポスター A (A2)



2008 ポスター (A2)



2010 ポスター A (A2)



2010 ポスター B (A2)



2011 ポスター B (A2)



2011 ポスター C (A2)



2012 ポスター A (A2)



2012 ポスター B (A2)



2012 ポスター C (A2)



主催:健康のため水を飲もう推進委員会 後援:厚生労働省
健康のため水を飲もう推進運動は、全国の水道事業者および各種団体・企業により運営されています。

2009 ポスター B (A2)

Poster Gallery

ポスターギャラリー

2006-2016



2013 ポスター B (A2) ※前年公募した標語の最優秀作品をポスター化



2013 ポスター A (A2)



2014 ポスター A (A2)



2015 ポスター A (A2)



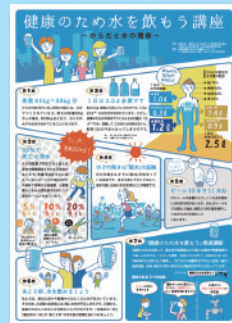
2016 ポスター C (A2)



2014 ポスター C (A2) ※水泳の瀬戸大也選手を起用



2008 チラシ (A4)



2014 チラシ (A4)



2014 ポスター B (A2)



2015 ポスター B (A2)



2016 ポスター A (A2)



2016 ポスター B (A2)



2016 チラシ (A4)

FLYER

協賛実績

団体一覧 (平成19(2007)年度~28(2016)年度)

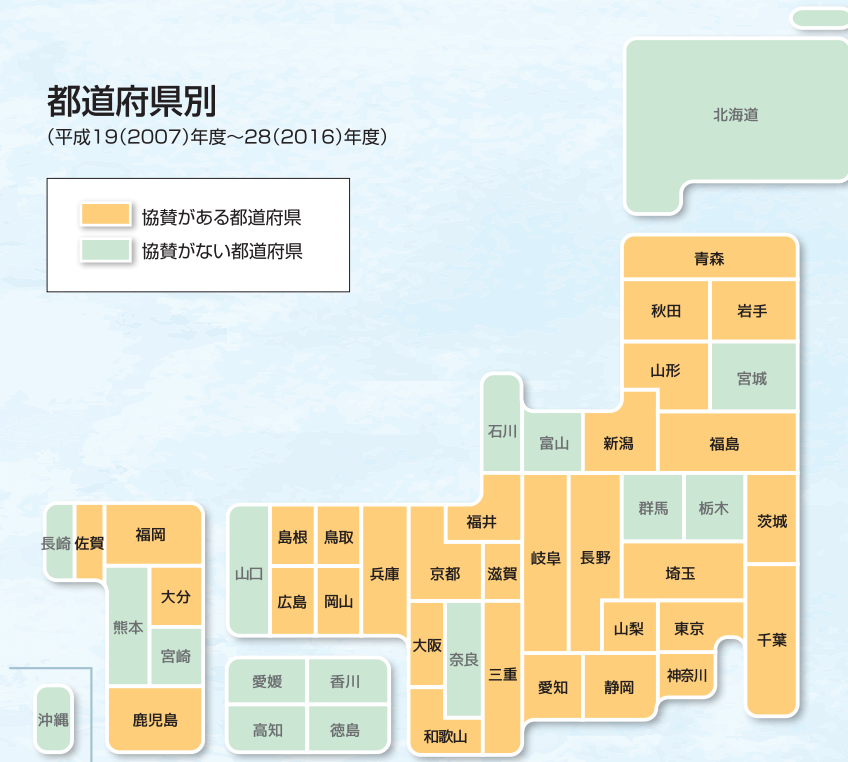
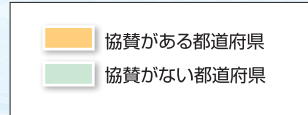
都道府県名	協賛団体名	都道府県名	協賛団体名		
北海道	—	京都府	日本水道協会 京都府支部 ＜京都市・京都府・綾部市・宇治市・亀岡市・木津川市・京田辺市・京丹後市・城陽市・長岡京市・南丹市・福知山市・舞鶴市・宮津市・向日市・八幡市・井手町・宇治田原町・大山崎町・久御山町・精華町・与謝野町＞		
青森県	八戸圏域水道企業団		大阪府	北大阪上水道協議会 ＜豊中市・高槻市・吹田市・茨木市・池田市・箕面市・摂津市・島本町・豊能町・能勢町＞	
岩手県	盛岡市上下水道局			東水協 ＜東大阪市・枚方市・八尾市・寝屋川市・守口市・門真市・大東市・交野市・四条畷市＞	
宮城県	—			大阪市水道局	
秋田県	秋田市上下水道局			河南水道協議会 ＜松原市・富田林市・河内長野市・羽曳野市・柏原市・藤井寺市・大阪狭山市・河南町・太子町・千早赤阪村＞	
山形県	山形県上下水道部	阪南水道協議会 ＜堺市・岸和田市・和泉市・泉佐野市・貝塚市・泉大津市・高石市・泉南市・阪南市・熊取町・岬町・忠岡町・田尻町・泉北水道企業団＞			
福島県	郡山市水道局	兵庫県	西播磨水道企業団		
茨城県	(公社)日本水道協会 茨城県支部 ＜茨城県・石岡市・潮来市・稲敷市・小美玉市・笠間市・鹿嶋市・かすみがうら市・神栖市・北茨城市・古河市・桜川市・下妻市・常総市・高萩市・筑西市・つくば市・つくばみらい市・土浦市・那珂市・行方市・坂東市・常陸太田市・常陸大宮市・日立市・ひたちなか市・鉾田市・水戸市・守谷市・結城市・茨城県南水道企業団・湖北水道企業団・阿見町・茨城町・大洗町・河内町・五霞町・境町・城里町・大子町・八千代町・東海村・美浦村・(株)日立製作所日立事業所・谷田部内町第一共同組合給水組合＞		姫路市企業局		
			栃木県	—	明石市水道部
			群馬県	—	阪神水道企業団＜神戸市・尼崎市・西宮市・芦屋市＞
			埼玉県	さいたま市水道局	阪神北地域水道企業団 ＜伊丹市・宝塚市・川西市・三田市・猪名川町＞
		千葉県	北千葉広域水道企業団	奈良県	—
東京都	東京都水道局	和歌山県	日本水道協会 和歌山県支部 ＜和歌山市・海南市・有田市・岩出市・紀の川市・御坊市・新宮市・田辺市・橋本市・有田川町・かつらぎ町・上富田町・紀美野町・串本町・高野町・白浜町・すさみ町・太地町・那智勝浦町・日高町・美浜町・湯浅町＞		
神奈川県	神奈川県企業庁 横浜市水道局 神奈川県内広域水道企業団		鳥取県	米子市水道局	
			山梨県	日本水道協会 山梨県支部 ＜山梨市・甲府市・甲斐市・甲斐東地域広域水道企業団・州市・中央市・都留市・韮崎市・笛吹市・富士吉田市・北杜市・南アルプス市・峡東地域広域水道企業団・東部地域広域水道企業団・市川三郷町・富士河口湖・富士川町・忍野村＞	
			島根県	松江市上下水道局	
新潟県	新潟市水道局		岡山県	岡山市水道局	
富山県	—	広島県	日本水道協会 広島県支部 ＜広島市・呉市・福山市・広島県・尾道市・三原市・大竹市・庄原市・竹原市・府中市・三次市・東広島市・廿日市市・江田島市・安芸高田市・海田町・熊野町・北広島町・世羅町＞		
石川県	—		山口県	—	
福井県	福井市企業局		徳島県	—	
山梨県	日本水道協会 山梨県支部 ＜山梨市・甲府市・甲斐市・甲斐東地域広域水道企業団・州市・中央市・都留市・韮崎市・笛吹市・富士吉田市・北杜市・南アルプス市・峡東地域広域水道企業団・東部地域広域水道企業団・市川三郷町・富士河口湖・富士川町・忍野村＞		香川県	—	
			徳島県	—	
		愛媛県	—		
長野県	松本市上下水道局 佐久水道企業団	高知県	—		
岐阜県	(公社)日本水道協会 岐阜県支部 ＜岐阜市・岐阜県・恵那市・大垣市・海津市・各務原市・可児市・郡上市・下呂市・関市・高山市・多治見市・土岐市・中津川市・羽島市・飛騨市・端浪市・美濃加茂市・美濃市・本巣市・池田町・笠松町・川辺町・岐南町・坂祝町・関ヶ原町・垂井町・御嵩町・八百津町・養老町＞	福岡県	福岡市水道局 北九州市上下水道局		
		静岡県	浜松市上下水道部 沼津市水道部	長崎県	—
		愛知県	名古屋市上下水道局	佐賀県	(公社)日本水道協会 佐賀県支部 ＜佐賀市・伊万里市・嬉野市・小城市・鹿島市・唐津市・多久市・武雄市・鳥栖市・佐賀西部広域水道事業団・佐賀東部水道企業団・西佐賀水道企業団・有田町・大町町・玄海町・江北町・白石町・太良町＞
三重県	(公社)日本水道協会 三重県支部 ＜津市・四日市市・三重県・伊賀市・伊勢市・いなべ市・尾鷲市・亀山市・熊野市・桑名市・志摩市・鈴鹿市・鳥羽市・名張市・松阪市・朝日町・大台町・川越町・木曾岬町・紀宝町・紀北町・菟野町・大紀町・多気町・玉城町・東員町・南伊勢町・御浜町・明和町・度会町＞	熊本県	—		
		大分県	別府市水道局		
		宮崎県	—		
滋賀県	日本水道協会 滋賀県支部 ＜大津市・滋賀県・近江八幡市・草津市・甲賀市・湖南市・高島市・長浜市・東近江市・彦根市・米原市・守山市・野洲市・栗原市・愛知郡広域行政組合・長浜水道企業団・甲良町・多賀町・日野町・竜王町＞	鹿児島県	鹿児島市水道局		
		沖縄県	—		

※過去に1回以上協賛のあった団体(構成団体)

企業・団体 (50音順)	(株)ウォーターテック	水ing(株)	(株)東京設計事務所	前澤工業(株)
	オリジナル設計(株)	全国管工事業協同組合連合会	(公社)日本水道協会	前澤給装工業(株)
	(株)キッツ	第一環境(株)	(一社)日本水道工業団体連合会	森松工業(株)
	(一社)水道管理運営協会	月島テクノメンテサービズ(株)	(株)PUC	

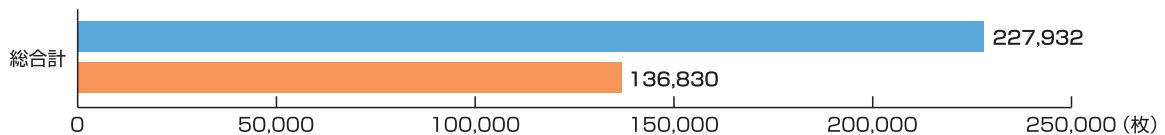
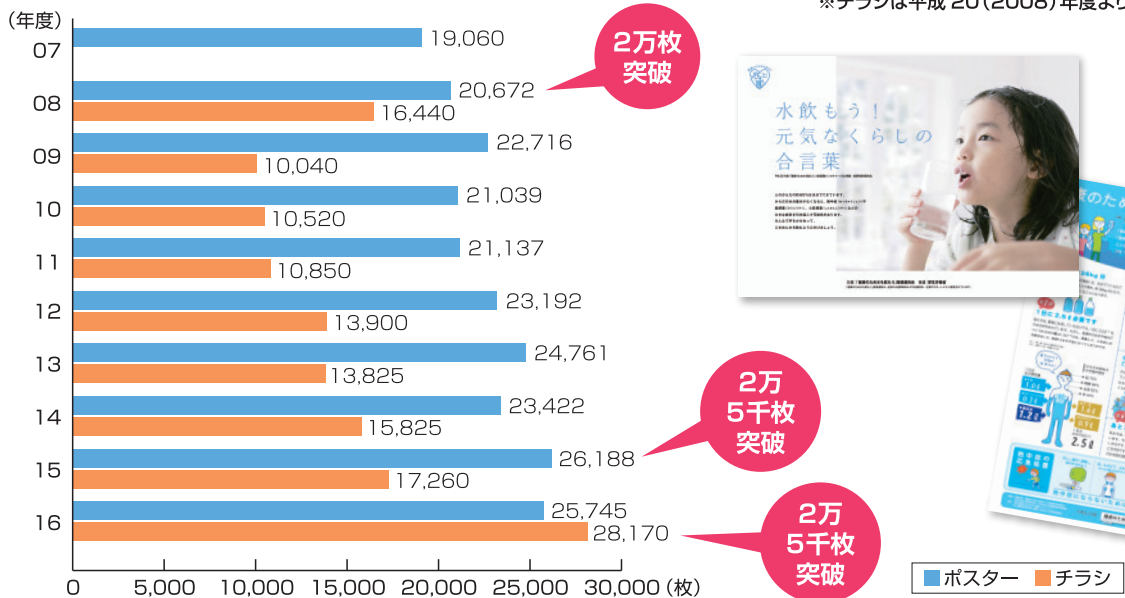
都道府県別

(平成19(2007)年度~28(2016)年度)



ポスター・チラシ配布枚数の推移

※チラシは平成20(2008)年度より作成開始。



委員等の変遷

委員名		委員会		平成19(2007)		平成20(2008)		平成21(2009)		平成22(2010)		平成23
		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回		
委員長	武藤 芳照		東京大学 大学院教授									
副 委員長	日本水道協会	専務理事 ⇒理事長	(専務理事) 赤川 正和		御園 良彦							
委員	厚生労働省 健康局水道課	水道課長	山村 尊房		粕谷 明博							石飛 博之
委員	泉 正文		日本体育協会 常務理事									
			日本水泳連盟 専務理事									
委員	日本高等学校 野球連盟	参事⇒ 事務局長	(事務局長) 田名部 和裕	(参事) 田名部 和裕				(事務局長) 小森 年展				山口 雅生
委員	水と健康 スポーツ医学 研究所	理事長	太田 美穂									
委員	保健所	豊島区池袋 ⇒大田区 ⇒中野区	(豊島区池袋 ⇒大田区 ⇒中野区) 永井 恵						(大田区 保健所長) 永井 恵			
委員	東京消防庁	救急 医務課長	岡部 綱好		—	—	—	—	—	—	—	—
委員	日本水道工業 団体連合会	専務理事	坂本 弘道									
委員	水道産業 新聞社	専務⇒ 社長	(専務取締役) 西原 一裕		(社長) 西原 一裕							
委員	日本水道 新聞社	本部長⇒ 主筆⇒顧問⇒ 新聞事業部長	(本部長) 龍崎 千遥						(主筆) 龍崎 千遥			
厚生労働省水道課	水道水質 管理室	水道水質 管理官	立川 裕隆	滝村 朗				吉口 進朗		松本 公男		
		室長補佐	久保 善哉					松田 尚之				
		調査指導 ⇒ 給水装置	(調査指導係長) 服部 麻友子		塚原 紗智子				(給水装置係長) 森谷 直子			
オフィサー	日本水道協会	調査部長	松明 淳									
		課長⇒ 次長⇒ 課長	(調査課長) 羽根田 卓一		(次長) 田村 雄一							
		主任 調査役	宇野 隆夫									
		広報係長	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		主査 ⇒調査専門監 ⇒主査	(主査) 中根 智子									

(2011)	平成24(2012)		平成25(2013)		平成26(2014)		平成27(2015)		平成28(2016)		
第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回	第19回	第20回	
東京大学 副学長／教授	→			日本体育大学 日体大 総合研究所所長	→					日体大総合 研究所所長 日本体育大学 特別招聘教授	→
→	尾崎 勝	→	(理事長) 尾崎 勝	→						吉田 永	→
→				宇仁菅 伸介	→	宮崎 正信	→				
								10月1日より医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部に機構変更			
								専務理事	→		
								副会長兼 専務理事	副会長	→	
→					竹中 雅彦	→					
						(中野区 保健所長) 寺西 新	→				
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
→				仁井 正夫	→						
→				(顧問) 龍崎 千運	→				(取締役 新聞事業部長) 磯部 光徳	→	
尾川 毅	→			田中 紀彦	→	長坂 雄一	→			東 利博	
→	<空席期間>	豊住 朝子	→			服部 麻友子	→	鈴木 あや子	→		
池本 忠弘	→			上迫 大介	→	吉崎 文人	→			田中 美奈子	
								玉野井 晃	→		
(調査課長) 大貫 三子男	→			熊坂 元	→	玉野井 晃	→	渋谷 正夫	→	千秋 裕一	
						山内 久	→	—	—	—	
—	久保 利幸	→						—	—	大澤 理恵	
→	岩瀬 央子	→			(調査専門監) 高坂 亮	→	(主査) 岩瀬 央子	→	大澤 理恵	→	

(敬称略)



「健康のため水を飲もう」推進委員会

事務局／株式会社 水道産業新聞社

〒105-0003 東京都港区西新橋 3-5-2 TEL 03-6435-7644 FAX 03-3438-0025